

## IV 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提関する注記  
該当なし。

2. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

市場価値のない株式は、取得価額をもって貸借対照表価額としている。

満期保有目的の債券は、取得価額をもって貸借対照表価額としている。

(2)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	280,000,000	0	0	280,000,000
小 計	280,000,000	0	0	280,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
事業準備引当資産①	191,500,000	338,783	0	191,838,783
事業準備引当資産②	600,000,000	0	0	600,000,000
小 計	791,500,000	338,783	0	791,838,783
合 計	1,071,500,000	338,783	0	1,071,838,783

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
投資有価証券	280,000,000	( 280,000,000 )	( 0 )	( - )
小 計	280,000,000	( 280,000,000 )	( 0 )	( - )
特定資産				
事業準備引当資産①	191,838,783	( 191,838,783 )	( 0 )	( - )
事業準備引当資産②	600,000,000	( 600,000,000 )	( 0 )	( - )
小 計	791,838,783	( 791,838,783 )	( 0 )	( 0 )
合 計	1,071,838,783	( 1,071,838,783 )	( 0 )	( 0 )

5. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
担保付特定社債	150,000,000	150,000,000	0
第1回一般担保付特定社債	600,000,000	600,000,000	0
第1回A号一般担保付特定社債	300,000,000	300,000,000	0
合 計	1,050,000,000	1,050,000,000	0

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

内 容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息計上による振替額	5,067,123
特定資産受取利息計上による振替額	16,369,779
合 計	21,436,902